



きらめけ！ 有年っ子

赤穂市立有年小学校
赤穂市西有年2853番地
TEL 0791-49-2081
発行者 西村 博子

本号では1月に行った
PTAアンケートの結果
をお知らせします。



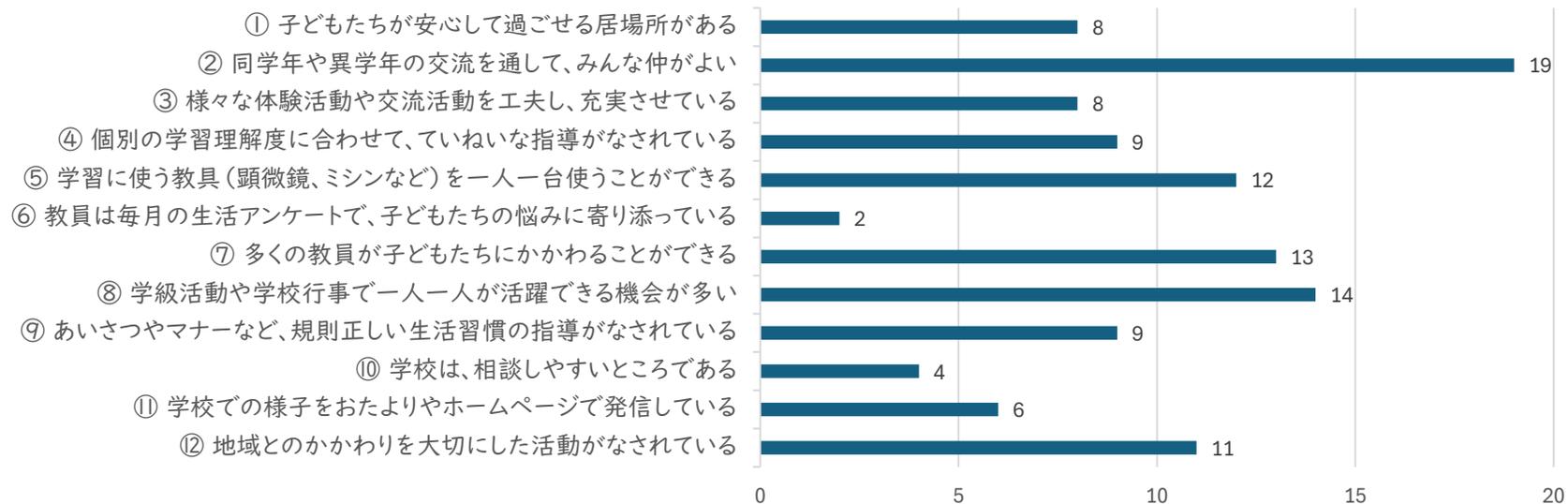
☆貴重なご意見ありがとうございました

1 アンケート内容

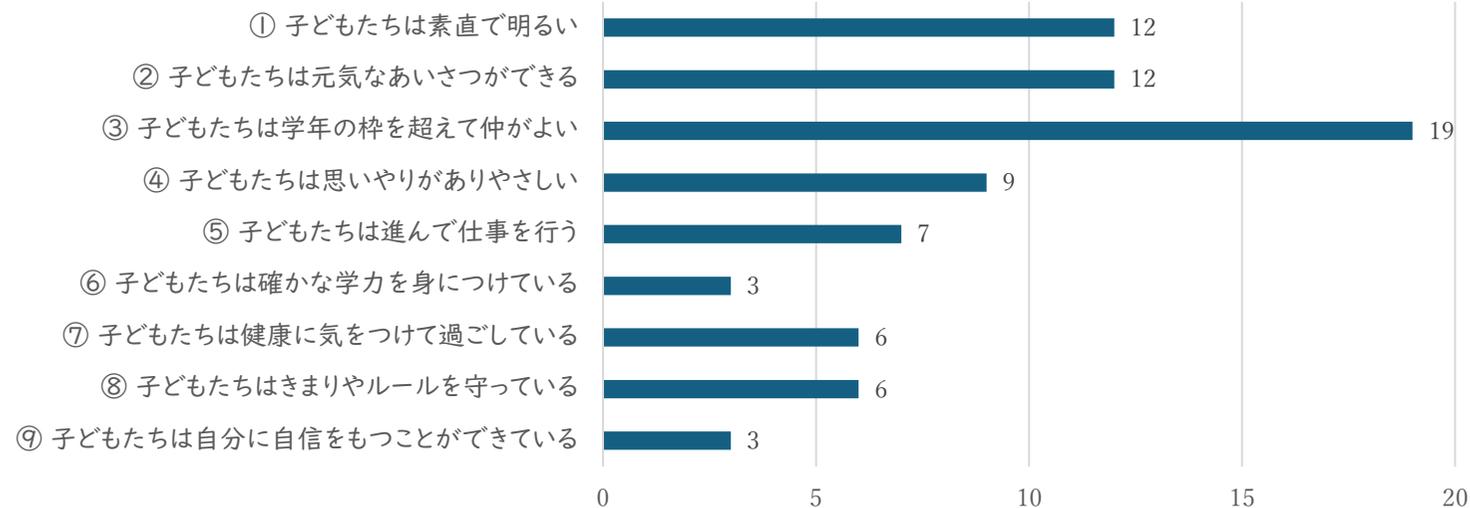
- 調査趣旨：コミュニティ・スクール7年目を迎え、学校運営協議会を中心に、学校規模の適正化・適正配置の協議を進める中で、より小規模校のよさを生かした特色ある取組を進めていくため。
- タイトル：「これからの有年小学校のあり方に関するアンケート調査」
- 回答期間・方法・回答率：令和7年1月20日（月）から24日（金）・QRコード回答・81.5%（22名／PTA27名中）
- 質問項目：①有年小学校のよいところだと思うものを選んでください。（複数回答可）
 - ②有年小学校の子どもたちのよいところだと思うものを選んでください。（複数回答可）
 - ③有年小学校の課題だと思うものを選んでください。（複数回答可）
 - ④これからの有年小学校のあり方についてご意見をお聞かせください。（自由記述）

2 集計結果

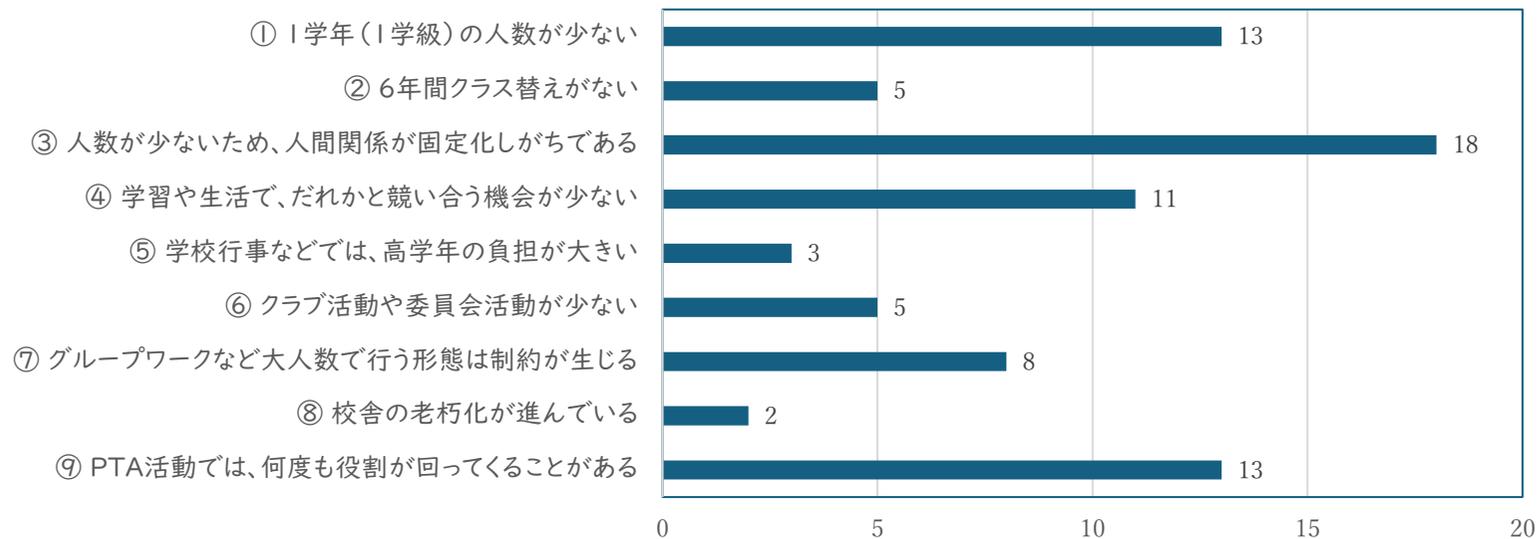
1 有年小学校のよいところだと思うものを選んでください。（複数回答可）



2 有年小学校の子どもたちのよいところだと思うものを選んでください。(複数回答可)



3 有年小学校の課題だと思うものを選んでください。(複数回答可)



4 これからの有年小学校のあり方についてご意見をお聞かせください。(自由記述)

- 大人数の世界へ出て人にもまれる生活は、小さい時から焦らずとも、成長とともに嫌でも経験できます。(中学校卒業以降)
小学生の間は、学力面の充実、人間関係の構築など、数ではなく、質を重視した学びができ、自己肯定感をしっかりもてるのが小規模校の最大のメリットだと思います。
- 大規模校で育った自分からすれば、有年小の子どもたちの環境は恵まれすぎていると思います。
- 子どもたちが明るく伸び伸びと過ごせる学校でいてほしい。
- オンラインでも構わないので、他校のお子さんたちとの交流を増やしてほしい。
- 中学、高校と人数が増えていくときに有年の子は大変と聞く。原と交流して同学年同士でふれあってもいいと思います。

- 学年人数を数えると、地元に戻るのをやめる人が多い。バス通学でも人数が多い上郡などに住むことを選ぶ人が多い。少人数で幼小中過ごしてきたからか、高校に上がったときに人間関係に悩む子をたくさん見てきた。少人数のメリットもたくさんあるけれど、我が子のためなら多い学校の方がいい。
- 合併するべきだと思います。中学になるタイミングでいなくなってしまう子がいるのは少人数すぎて逆に不安だからです。

- 小規模校でのメリット・デメリットを考えた上で、子どもや保護者に負担が少ない小学校であってほしい。ただ、子育てをしている以上、子どもに関わることで役員や行事は仕方ないと思うので、保護者も楽しんで取り組めるアットホームな雰囲気これから大事にできれば・・・!
- もっと親が積極的に参加できる行事等を設けてほしい。子どもと一緒に楽しみたい!
- 生徒の数が少なくなっていく今後将来、教育の場の環境がどのように変化していくのか、気になるところです。

3 結果考察

- ・「よいところ」については、項目⑥⑩⑪において回答率が低くなっています。学校では児童の悩みや相談に寄り添った対応を教職員全体で行っていますが、ご家庭にまでその取組が伝わっていないことが一因かと思われます。どんな些細なことでも情報を共有し、相談しやすい学校であるよう努めたいと思います。学年・学校の様子ももっと積極的に発信していきます。
- ・「子どもたちのよいところ」について、のびのびと元気に学校生活が送れるようにご支援いただいていることが実感されます。項目⑥⑨については、児童の習熟度に合わせたていねいな個別指導、自尊感情や自己肯定感を高められる活動の工夫にさらに取り組みます。
- ・「有年小学校の課題」では、少人数であることの負担や固定化についての不安が多くありました。オンラインでの他校との交流や持続可能な学校行事、PTA活動等の見直しを進めていきたいと思っています。
- ・小規模校のメリット・デメリットを整理し、家庭・地域との協働をさらに進め、有年小学校らしい特色づくりに取り組んでいきます。